



平成 27 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社ベリテ
代 表 者 代表取締役社長 CEO ジャベリ アルパン
コード番号 (9904 東証第二部)
問 合 せ 先 執行役員 CFO 兼 管理本部長 米畑 博文
(TEL : 045-415-8821)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 27 年 2 月 9 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 27 年 3 月期通期業績予想数値の修正(平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期 純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,000	240	100	40	1.47
今回修正予想 (B)	8,600	△132	△233	△1,530	△56.18
増減額 (B-A)	△400	△372	△333	△1,570	
増減率 (%)	△4.4	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	9,778	240	20	152	5.60

2. 修正の理由

平成 27 年 3 月期第 4 四半期において売上高が 1 月度より前年実績を上回り 12 ヶ月ぶりに売上回復の兆しがみられました。これをもとに第 4 四半期の売上高を前年同期比 15%増の 3,136 百万円を目標に、特に魅力ある商品の投入、値引率のアップ、販売促進費用の追加投入と販売施策を展開しましたが、3 月度単月の売上高が当初の営業目標を大きく下回り、第 4 四半期の売上高は前年同期比 0.4%増の 2,736 百万円の見通しとなり通期で前回予想を 400 百万円下回ることになりました。営業利益は値引率のアップによる売上総利益率の低下および追加販売費用の支出が直接影響し、当初予想より 372 百万円下回り 132 百万円の営

業損失となる見通しです。経常利益に関しては営業外費用の改善があるものの前回予想を333百万円下回り233百万円の経常損失となる見通しです。当期純利益が変動した原因につきましては、本日開示の「債権の回収不能のおそれ、貸倒引当金の計上及び特別損失の発生に関するお知らせ」のとおり、貸倒引当金の計上及び商品処分の損失を特別損失として計上するものです。

以上

(注) 本資料に記載しております業績予想等につきましては、現時点で得られました情報に基づき算定しております。実際の業績は、今後様々な要因により本資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。